



2023年4月14日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社ジズホールディングス
(コード番号：3046 東証プライム市場)
代 表 者 代表取締役 CEO 田 中 仁
問 合 せ 先 執行役員 IR 室長 山 脇 幹 也
電 話 番 号 TEL (03) 5275-7001 (代表)

2023年8月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異及び
通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2022年10月14日に公表いたしました2023年8月期の第2四半期（累計）の連結業績予想と実績に差異が生じましたこと及び通期の連結業績予想の修正並びに配当予想の修正を行うことといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年8月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異について
第2四半期（累計）（2022年9月1日～2023年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	36,680	1,960	1,810	1,000	42.84
実 績（B）	34,556	1,509	1,505	772	33.11
増減額（B－A）	△2,123	△450	△304	△227	
増 減 率（%）	△5.8%	△23.0%	△16.8%	△22.7%	
（ご参考）前期実績 （2022年8月期第2四半期）	32,704	1,902	2,172	1,170	50.14

2. 2023年8月期通期連結業績予想の修正について
通期（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	78,100	7,000	6,700	4,100	175.66
今回修正予想（B）	73,486	4,009	3,875	2,142	91.81
増減額（B－A）	△4,613	△2,990	△2,824	△1,957	
増 減 率（%）	△5.9%	△42.7%	△42.2%	△47.7%	
（ご参考）前期実績 （2022年8月期）	66,901	3,315	3,789	750	32.17

3. 差異及び修正の理由

(1) 当第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異の理由

当第2四半期累計期間につきましては、連結売上高は、当初予想を2,123百万円下回る34,556百万円となりました。

国内アイウェア事業につきましては、約7年ぶりに刷新した「JINS CLASSIC」シリーズ、「STANDARD」シリーズをはじめとした定番商品から販売価格を改定し、11月中旬以降は既存商品も同一の価格帯にしたことにより一式単価は順調に伸長したものの、12月、1月にかけて、全国旅行支援等により観光や飲食等に需要が向けられ、アイウェアの購買需要獲得にはつながらなかったこと等により、売上高は当初予想より減少し、ほぼ前年並みとなりました。

海外アイウェア事業につきましては、台湾、香港においては新型コロナウイルス感染症の感染状況は落ち着いており、売上高は順調に伸長いたしました。しかしながら、中国においては8月後半から地方都市を中心に都市封鎖が増加したことにより客足に影響が出始め、12月上旬に実質的にゼロコロナ政策が撤廃となって以降も年内は人流が大幅に減少するなど、業績に大きく影響がありました。

営業利益につきましては、主に国内アイウェア事業において、本部コストを中心に販管費の削減を進めたものの、売上高の減少による影響をカバーするには至らず、当初予想を450百万円下回る1,509百万円となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益が予想を下回ることにより当初予想を下回る結果となりました。

(2) 通期連結業績予想の修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、連結売上高は、当初予想を4,613百万円下回る73,486百万円となる見込みです。

国内アイウェア事業につきましては、下半期以降の一式単価は期初の前提に加え、11月より実施している既存商品の価格改定及びオプションレンズ装着率向上施策等により順調に上昇することが見込まれるものの、販売本数は足許の動向から期初の前提より減少することが見込まれること及び前述の第2四半期累計期間の影響があることから、売上高は当初予想より減少する見込みです。

海外アイウェア事業につきましては、中国においては年始以降はゼロコロナ政策の撤廃により人流も回復しており、政府による消費刺激施策も予定されていることから売上高は順調に回復する見込みです。その他の国、地域においても、出退店のスケジュールにより多少の増減があるものの、下半期の売上高はおおむね当初予想どおりとなる見込みです。

営業利益につきましては、主に国内アイウェアにおいて、上記売上高の減少による影響に加え、コロナ前後で変化した消費者ニーズ、圧倒的なアイウェアの販売本数を有する当社の強みなどを徹底的に分析し、更なるお客さま満足度の向上などの諸課題に対応することを目的とした大胆な戦略投資コストの追加を計画していることから、当初予想を2,990百万円下回る4,009百万円となる見込みです。これにより、今期の売上高営業利益率は約5.5%を確保する見込みではありますが、既存のビジネスモデルを変革する大きな転機と捉え、聖域なく社内改革へ向けた抜本策を講じて参ります。

なお、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益が予想を下回る見込みであるため当初予想を下回る見込みです。

4. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (2022年10月14日)	円 銭 13. 00	円 銭 40. 00	円 銭 53. 00
今 回 修 正 予 想	13. 00	18. 00	31. 00
(ご参考) 前 期 実 績 (2022年8月期)	17. 00	0. 00	17. 00

(2) 修正の理由

当社は、中長期的な株主価値の増大を最重点課題と認識し、将来の事業展開に備えた適切な内部留保の充実と、株主の皆様への継続的かつ安定的な配当を実現していくことを基本方針とし、連結配当性向30%を目処に配当を実施しております。

この方針に基づき、今回の通期連結業績予想の修正に伴い、中間配当予想につきましては、当初予想を据え置くものの、期末配当を当初予想の1株当たり40円から22円減額し、1株当たり18円に修正することといたしました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により予測と大きく異なる可能性があります。

以 上